第四五回　内村鑑三研究会のご案内

日時　二〇二四年九月一六日（月曜日・敬老の日）一四時〜一七時

開催方法　対面とズームのハイブリッド方式として開催
会場は今井館聖書講堂（東京都文京区本駒込六―一一―一五）

発表

キリストの贖罪力について

戸村　潔（内村鑑三研究者）

〈発表要旨〉若き内村鑑三の『余は如何にして基督信徒となりし乎』（原著書名：*How I Became A Christian: Out of My Diary*, 1895.）は、「一人の異教徒」がキリスト教に入信して「ヨナタン」となり、回心して「ヨナタン X」にいたる魂の成長を記した霊的自叙伝と考える。つまり、「X」とはChristian の略語であり、本作品のテーマは「余は如何にして（真の意味で回心した）基督信徒となりし乎」にあると思われる。本発表では、「空虚」という言葉を手がかりに、第五章から第八章を読み解くことにより、著者内村とって、「回心」とは「キリストの贖罪力」によって生起した「魂の救済」であることを論証する。

内村鑑三の預言者像と咸錫憲のシアル（民）思想

朴　賢淑（パク・ヒョンスク）（大阪女学院大学准教授、実践神学・宣教学専攻）

〈発表要旨〉昨年、出版された拙著『咸錫憲（ハムソクホン）におけるシアル思想の成立と展開』（関西学院大学出版会）を通して、咸錫憲のシアル思想が、日本留学時に友人の誘いを受け内村鑑三の聖書研究会に参加したことで、その聖書理解とその思想に刺激されたものであることを明らかにした。今回の発表では「預言者」と「民」への思索を中心に二人の思想を読み解くことにする。「果たして、二人における思想的継承と断絶なるものがこの二つのキーワードを通して見出せるのか」がこの発表の鍵となる。

司会　千葉　眞（『内村鑑三研究』編集委員、国際基督教大学名誉教授）

資料・通信費　一〇〇〇円

申し込み　ズームで参加ご希望の方は九月一五日までにメールで左記までお申し込みください（氏名、TEL、メールアドレス明記）。折り返し当日ログインするURLと資料・一〇〇〇円の参加・通信費振込口座の情報をお送りします。（対面での参加の方は申し込み不要。会場に直接お越しください。）
千葉　眞　メールアドレス chibas@icu.ac.jp

主催　『内村鑑三研究』編集委員会（岩野祐介、柴田真希都、ゾンターク・ミラ、高木謙次、千葉　眞、ラフェイ・ミシェル、渡部和隆）

問い合わせ　千葉　眞　メールアドレス chibas@icu.ac.jp　電話　042-304-3439
今井館教友会内『内村鑑三研究』編集委員会　電話　03-6277-5669